

平成 18 年度

# 安全報告書



平成 19 年 9 月



長崎電気軌道株式会社

## 1. 電車をご利用のみなさま、地域のみなさまへ

当社は軌道事業並びに広告を中心とした兼営事業の二事業を核にし、地元のみなさまに愛される事業者を目指し努力いたしております。

当社事業に対しまして、暖かいご理解とご協力を賜りまして心よりお礼申し上げます。

さて、この度は遵法精神の欠如から報告すべき事故報告を怠り、社会的信用を失墜させ、市民の皆様、ご利用のお客様方に多大なご迷惑をお掛けいたしましたことに、心より深くお詫び申し上げます。

当社は「安全の確保」を経営理念の第一に掲げ、法令や諸規定を遵守し、厳正な執務を行い安全輸送という使命達成に取り組み、安心してご利用いただける公共交通機関の一翼を担えるよう努力してまいります。

長崎電気軌道株式会社 代表取締役社長 佐藤 龍太郎

## 2. 安全輸送に対する基本方針

当社は安全第一の意識をもって事業活動を行える体制の整備に努めるとともに、軌道施設、車両及び社員を総合活用して輸送の安全を確保してまいります。

〔基本方針〕

- ① 安全の確保は輸送の生命である。
- ② 規程の遵守は安全の基礎である。
- ③ 執務の厳正は安全の要件である。
- ④ 事故・災害が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとる。
- ⑤ 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保する。
- ⑥ 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦する。

### 3. 平成18年度の事故等の発生状況

平成18年度は車両衝突事故等重大な事故の発生はございませんでしたが、道路障害事故5件・踏切障害事故7件・人身障害事故1件・輸送障害1件・インシデント3件が発生し、9人の負傷者が出ました。

(1) 平成18年度事故発生件数 ( )内は負傷者数

	道路障害	踏切障害	人身障害	輸送障害	インシデント
H18年度	5 (8)	7 (0)	1 (1)	1 (0)	3 (0)

注) 輸送障害とは本線路上における30分以上の遅延や運休

インシデントとは事故につながる恐れのある事態

(2) 運転事故等(有責事故)に講じた措置

- ・当該運転士へ安全教育を実施しました。
- ・運転関係係員に基本(作業基準・マニュアル)に則った作業の励行を喚起しました。
- ・各係員間の連絡の徹底を行いました(信号厳守・合図の確実・表示板の改良)。

### 4. 輸送の安全確保のための取り組み

(1) 人材対策といたしまして、次の項目に取り組みました。

- ① 安全確保を目的とした業務研修会を、年末年始総点検や交通安全運動期間中(準備期間含む)に実施しました。
- ② 運転経験3年未満の運転士に対して、安全確保のための業務研修会を実施しました。
- ③ 運転関係係員を対象に運転適性検査を実施しました。

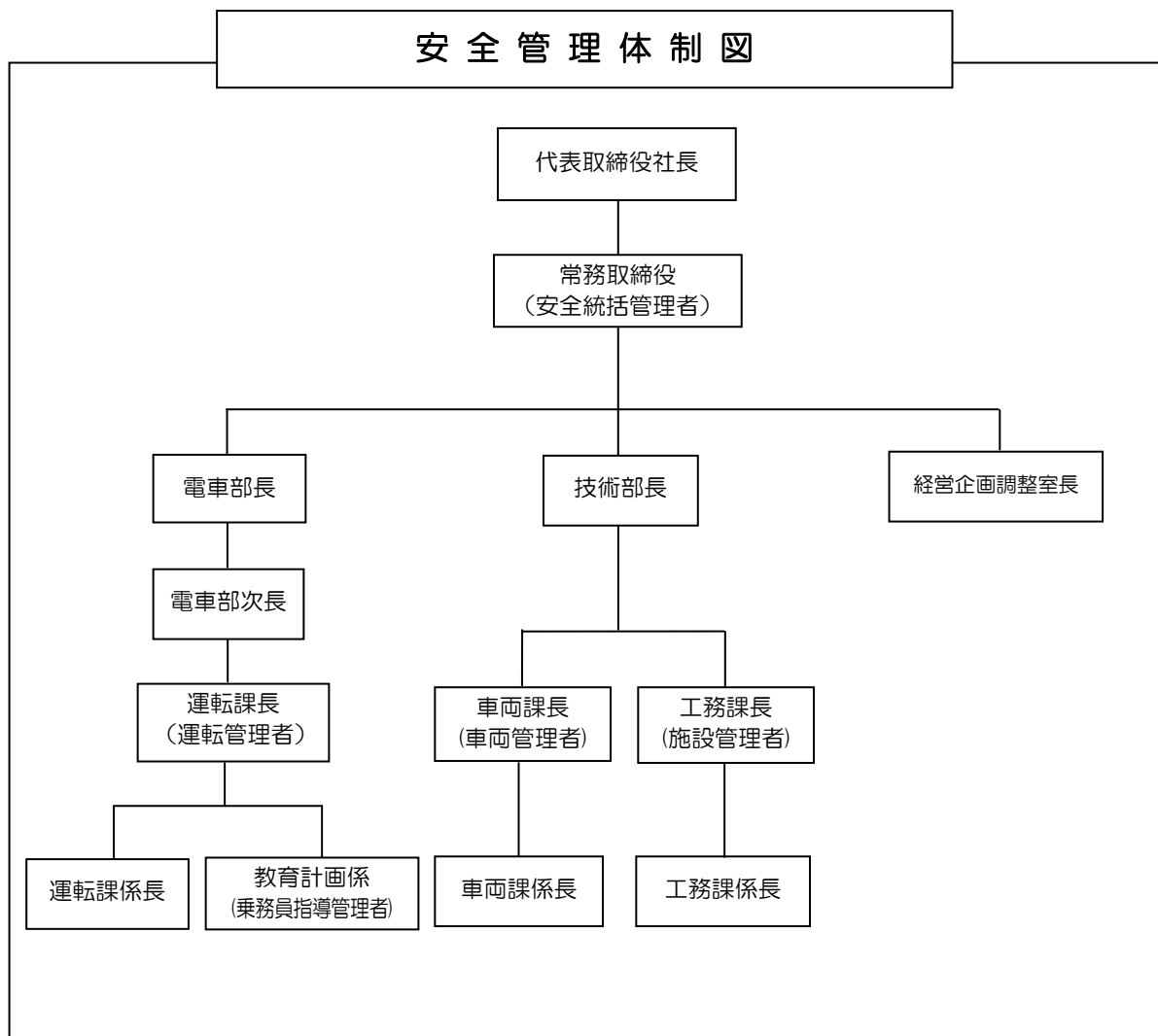
(2) 施設対策といたしまして、次の項目に取り組みました。

- ① 軌道整備工事(L=192m 上り線)を実施しました。
- ② 接続ブロック化軌道整備工事(L=63m 複線)を実施しました。
- ③ 剛質舗装構造変更軌道整備工事(L=378m 上り線)を実施しました。
- ④ 電車吊革の高さを一部低くするとともに黄色の配色として、より利用しやすく認識しやすいように改良しました。

## 6. 平成 19 年度の安全目標

- (1) 重大事故の根絶
- (2) インシデントの根絶
- (3) 厳正な法令順守（コンプライアンス）の徹底

## 7. 安全管理体制



## 8. 各管理者の役割

社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する
運転管理者	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する
車両管理者	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する
施設管理者	安全統括管理者の指揮の下、軌道施設に関する事項を統括する
乗務員指導管理者	運転管理者の指揮の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する

## 9. 安全報告書への問い合わせ

安全報告書に関するご意見、ご感想はこちらまでお寄せください。

[untanka@naga-den.com](mailto:untanka@naga-den.com)